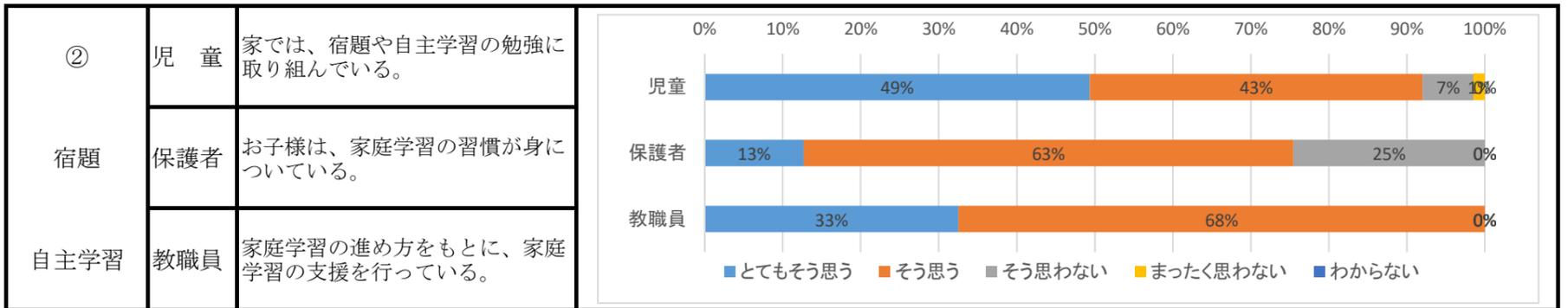
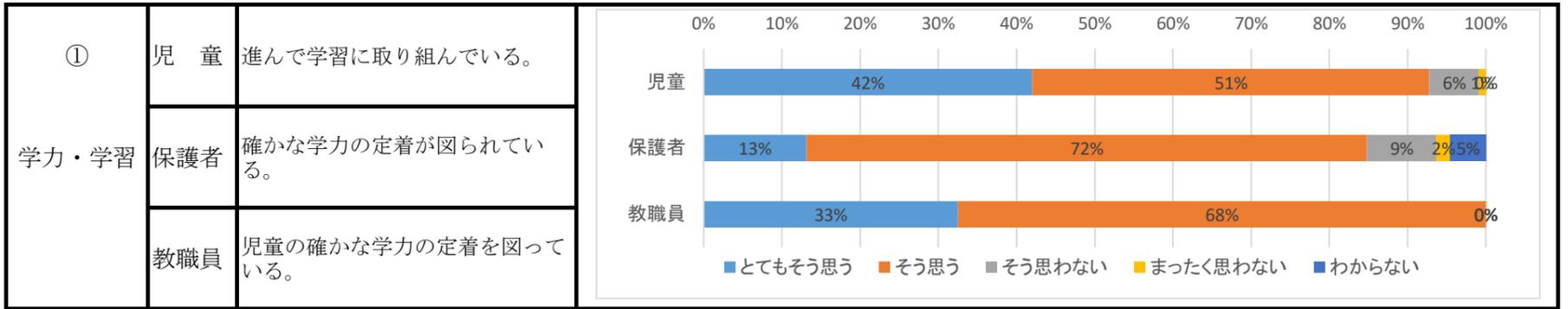
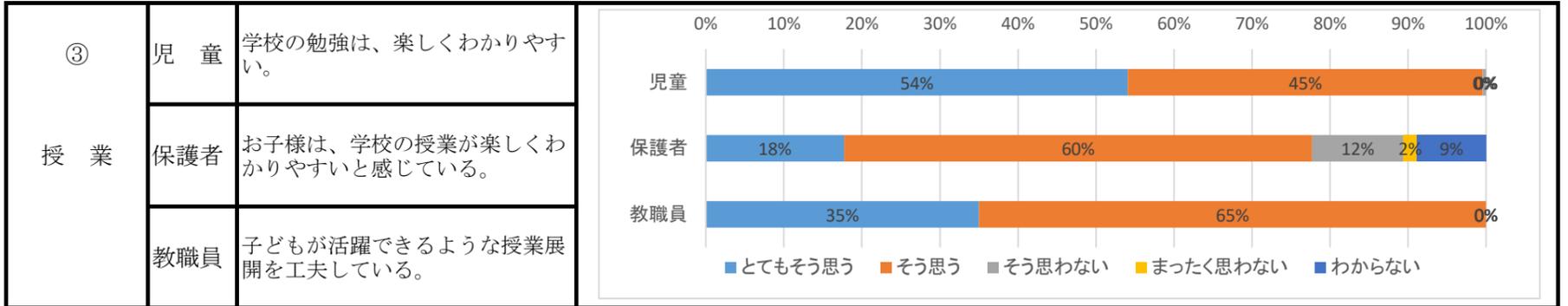


令和7年度学校評価結果

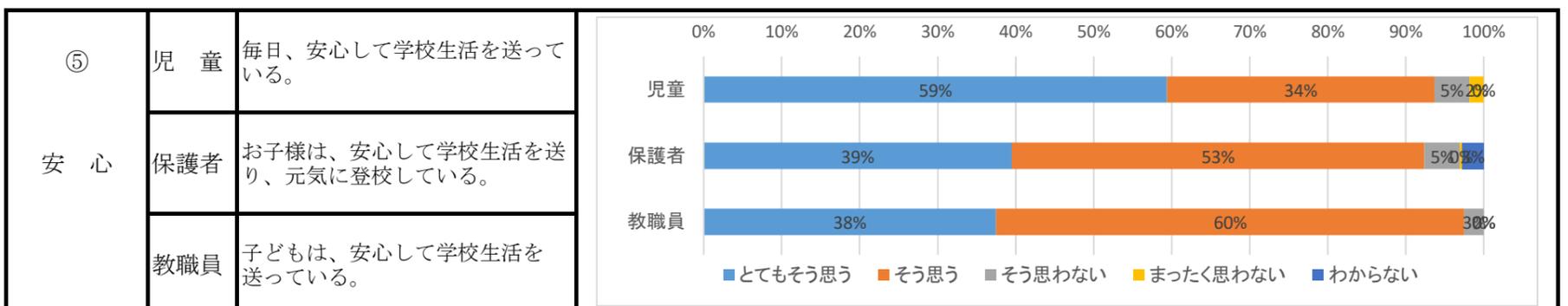
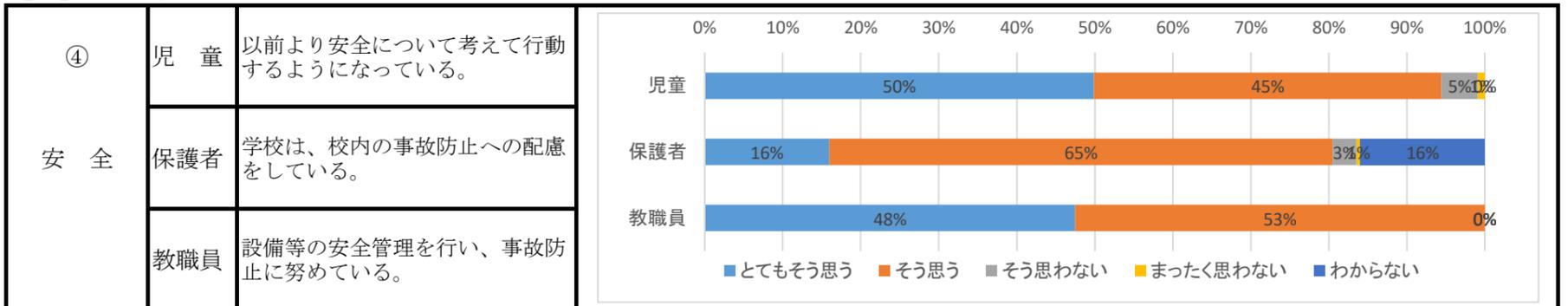
【1】児童の学力・学習状況



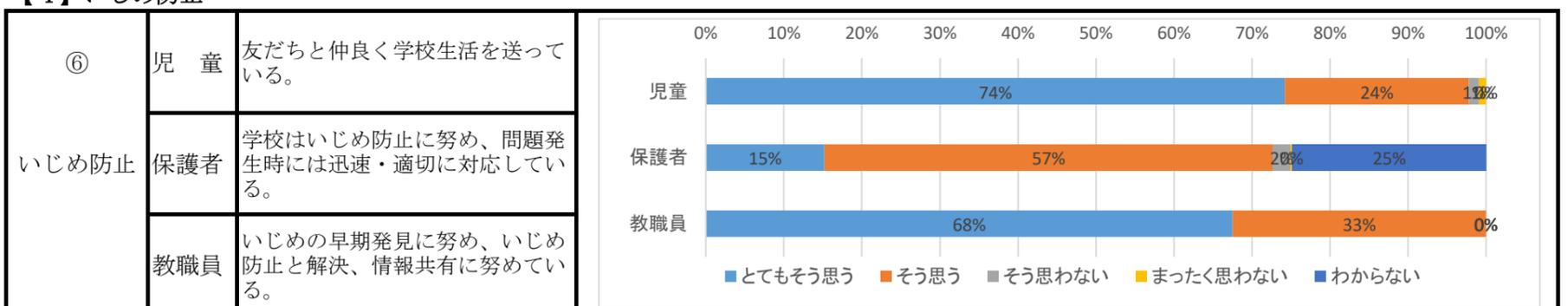
【2】教員の授業にかかわる評価



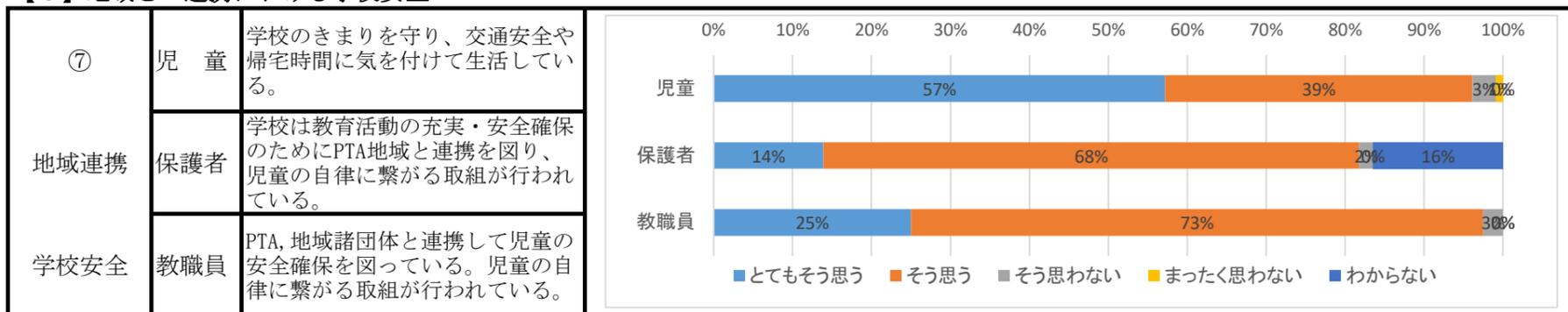
【3】児童生徒の安全・安心



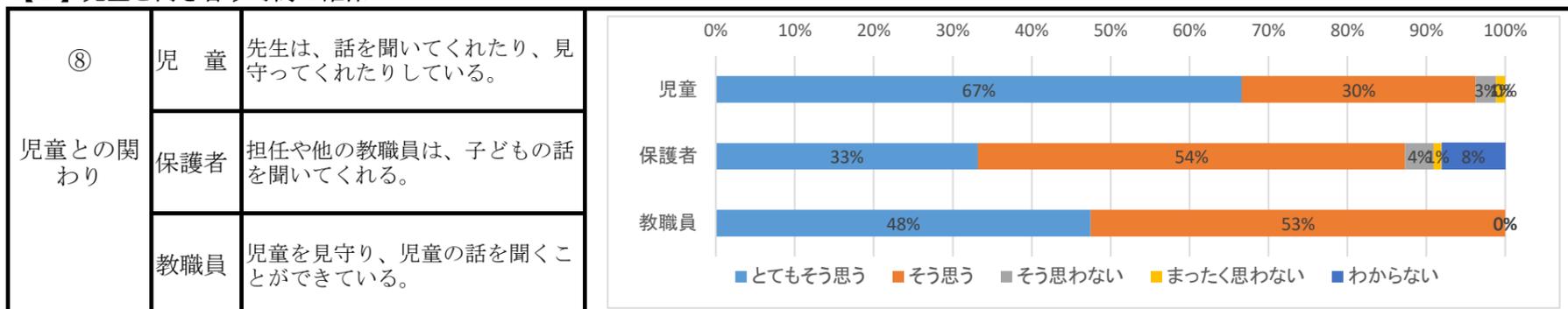
【4】いじめ防止



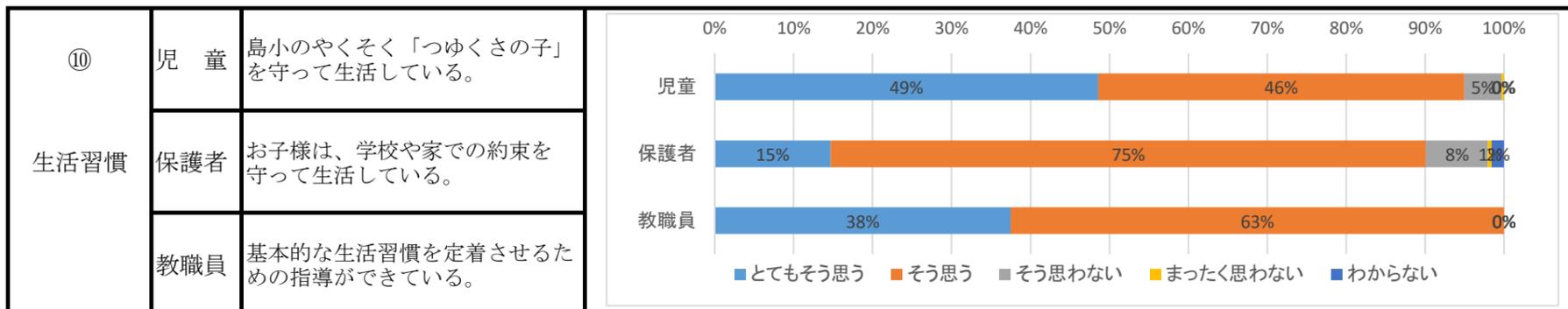
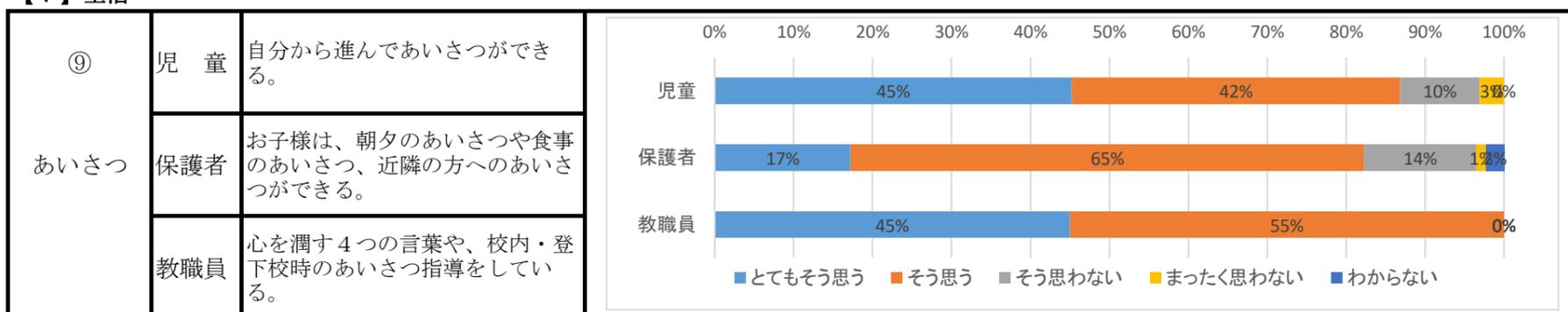
【5】地域との連携における学校安全



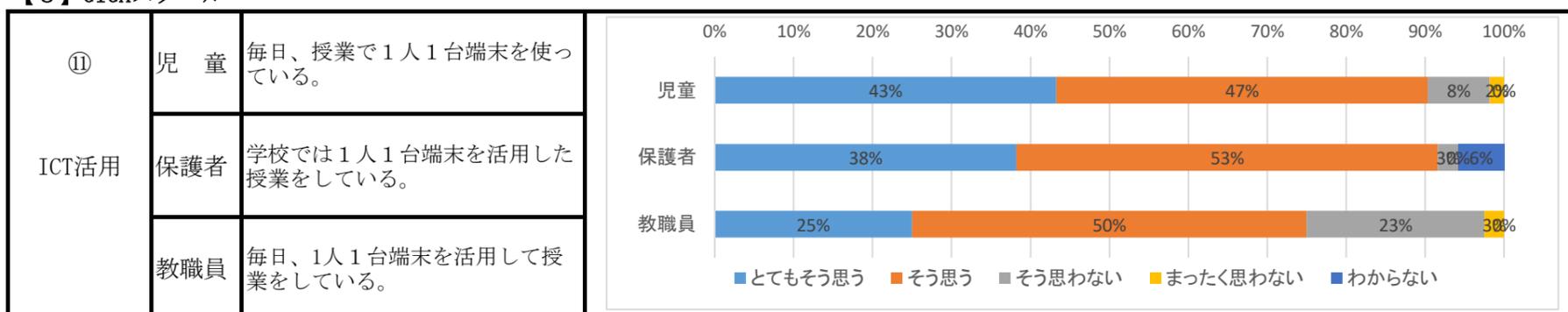
【6】児童と向き合う時間の確保



【7】生活



【8】GIGAスクール



○学校評価を受けて

ほとんど項目で昨年度を超える結果となった。特に、【2】教員の授業にかかわる評価では、昨年度を大きく上回った。引き続き、子どもたちが活躍できるような授業展開等を研修、工夫することで、子どもたちが楽しく学習に取り組めるようにしていきたい。

【1】児童の学力・学習状況では、「進んで学習に取り組んでいる」の設問に肯定的な回答をした児童が93%（昨年比+1Pt）となった。日頃から多くの児童が主体的に学習に取り組んでいる様子が伺える。

【2】教員の授業にかかわる評価では、「学校の勉強が楽しくて分かりやすい」の設問に肯定的な回答をした児童が99%（昨年比+9Pt）となった。また、「お子様は、学校の授業が楽しくわかりやすいと感じている」の設問に肯定的な回答をした保護者が78%（昨年比+5Pt）となった。

【3】児童生徒の安全・安心では、「毎日安心して学校生活を送っている」の設問に肯定的な回答をした児童が93%（昨年比±0Pt）となったが、保護者の「お子様は、安心して学校生活を送り、元気に登校している」については、92%（昨年比△2Pt）となった。不安を抱えている保護者が増えたことを真摯に受け止め、保護者が安心して送り出せる学校づくりをしていきたい。

【4】いじめ防止では、肯定的な回答をした児童が98%（昨年比+3Pt）、保護者が72%（昨年比+3Pt）となった。肯定的な回答は増えたものの、いじめについては、児童の2%・保護者の3%が不安を抱えているということをも真摯に受け止め、引き続き防止に努め、迅速に対応していきたい。

【5】地域との連携における学校安全については、肯定的な回答をした保護者が82%（昨年比+1Pt）、教員が95%（昨年比±0Pt）となった。

【6】児童と向き合う時間の確保について、肯定的な回答をした児童が97%（昨年比+1Pt）となった。また、肯定的な回答をした保護者が87%（昨年比+3Pt）となった。昨年度に引き続き、月曜日の日課表の変更や教育相談日の増加等による、教員一人ひとりが児童と向き合える時間の確保ができたことが要因の1つと考える。

【7】生活では、あいさつの項目に肯定的な回答をした児童は87%（昨年比△1Pt）、保護者は83%（昨年比△2Pt）となった。また、生活習慣の項目に肯定的な回答をした児童は95%（昨年比+1Pt）、保護者は90%（昨年比+3Pt）となった。あいさつには課題があるものの、基本的な生活習慣の定着は図られていることがわかる。

【8】GIGAスクールでは、肯定的な回答をした児童が90%（昨年比±0Pt）、保護者が91%（昨年比△2Pt）、教員が75%（昨年比+1Pt）となった。

<肯定的なご意見>

- ・授業は大変そうだが、クラスでもお友達と楽しく過ごせているようす。得意な事を伸ばしていただける環境で、とてもありがたい。
- ・にじいろ学級で「習熟度別」の指導が始まり、とても、良いことと思っている。
- ・「保育所等訪問支援」の、受け入れも大変ありがたい。
- ・たくさん子ども達がいる中、個別にも話を聞いてくださったり対応していただいたり、大変ありがたく感じている。
- ・先生もお友達も大好きで、毎日楽しく学校に通うことができている。
- ・いつも親身になっていただき、感謝しかない。あと数カ月で卒業はある意味名残惜しいですが娘の残りの小学生生活を応援したい。
- ・事故等の際にも、先生の迅速かつ的確なご対応により、児童の安全が守られ、スクリレでの迅速な情報共有もあり、保護者としても安心した。また、学校で責任ある役割を任せさせていただいたことで、本人の励みになっている。卒業までの限られた時間の中で、中学校生活へスムーズに移行できるよう引き続きご指導をお願いしたい。
- ・繊細な所があり学校生活にまだ不慣れな所はあるが、先生に相談しながら取り組んでいる。今後も相談させていただきたい。
- ・先生によく話を聞いてもらい、積極的に学校での生活をしているように感じる。
- ・大きな不安を抱えながら入学したが、関わりのある全ての先生方が、子どもと保護者の両方に対し、常に丁寧寄り添ってくださることで、島小学校に入学して本当に良かったと、心から感謝している。また、先生方が生き生きと働く姿が印象的で、働き方改革をはじめ、行き届いた学校運営が、先生方の心や時間のゆとりを生み、それが子どもたちに還元されているように感じる。地域に誇れる素晴らしい学校である。
- ・他学年との交流やイベントがあり、嬉しい。担任の先生も好きだが、他のクラスの先生やクラスに入って手伝ってくれる方、給食室の先生、図書室の先生など、自分の好きをたくさん見つけているようで、楽しんでいる様子である。
- ・担任が息子に前向きになるような声掛けをして下さるおかげで、学校生活や家庭学習にしっかり取り組んでいる。息子の成長を感じられる。
- ・個人面談時に、算数が苦手で自分から取り組みたがらないことをご相談させていただいた。後日、先生が自主学習できるように問題を作ってください、みてもらえたことが嬉しく、算数を頑張る原動力になったよう。子供に向き合い寄り添ってくださる先生に出会えて感謝している。
- ・いつも安全に見守っていただき感謝している。共働きで下校時の旗当番くらいしか参加できず、申し訳なく思う。子供達が楽しそうに元気に下校する姿を見て私も元気をもらえる。朝の登校時も校長先生や教頭先生の姿をよくお見かけする。学校生活では担任の先生に褒められた話をしてくれ、先生を信頼しているようで毎日色々な話をしてくれる。まだ日直の日は行きたくないと送り出すのに苦労するが少しずつ成長はしているように感じる。面談、授業参観、持久走など、子どもの様子を伺える機会も多く作って頂きありがたい。
- ・授業中他に気になることがあったり分からなかったりする事があると集中力に欠ける傾向が強く、個別に指示をすると理解しやすいが、全体の指示が自分事として受け止めにくい事から学力が身についているかは不安。反面自宅での学習習慣は身につけており、漢字の書き取りや単純な計算は身につけていると思う。特性上思った通りに事が運ばない時に癩癩気味になり、先生やお友達にご迷惑をお掛けしてしまい本当に申し訳ない。今後とも何卒サポートして頂きたい。

①パソコン（端末 タブレット）の使用制限について

- ・ネットに対する知識や自制心が未熟な子供が、現状自由にパソコンを使用していることにつきリスクを感じる。教育に関するサイト以外の閲覧、使用の制限など対策を改めて考えていただきたい。現在学校では、貸与されたパソコンでのゲーム利用や YouTube などネットの利用は原則禁止されているかと思うが、みなさんルールを守れているのか。先生方がきちんとそれを管理、監視されているのか。ネット依存についての配慮も全くされていないのが現状だと思う。ネット依存は子供の脳の発達に悪影響があると言われている。また影響を受けてしまった脳は元に戻すのが難しいとも言われている。パソコンについては担任や家庭で管理するには限界があり、現実的に考えて無理だと思う。ですので、監視システムの導入や閲覧制限を行うなど、一括管理できるような対策を強く希望する。端末利用のよい面だけを見ては本当の意味での活用にはならない。リスクに目を背けず、子供たちの健やかな発達のためにぜひ考えていただきたい。
- ・パソコンの利用ルールの徹底がされていないことに危機意識を持っていただきたい。担任の先生はどこまで生徒の利用状況を把握できているのか。ネットやスマホ利用を制限する条例も地域によっては制定されている。利用時間や閲覧の制限をかけるなどの対策を一刻も早く考えていただきたい。
- ・パソコンの授業は5年生位でいいのではないかと思う。又、ゲーム等の規制をかけてほしい。

→ インターネットやデジタル機器の利用に関するリスクについて、学校としても重要な課題と認識しております。特に、ネット依存や不適切なサイト閲覧が子どもたちの健やかな成長に悪影響を及ぼす可能性があることは、学校としても十分理解しています。一方で、現在の社会は急速にデジタル化が進んでおり、子どもたちが将来必要とする力を育むためには、ICTの活用は避けられない状況です。さいたま市学習状況調査は昨年度からすべて端末を使って行っており、今年度も動画を見て回答する問題等が出題されておりました。全国学力・学習状況調査も令和9年度からは、紙ではなく、端末を使用して行う形になる予定です。各受験等も今後、端末を活用する学校が増えてくることも想定されます。本校では「学習に必要なかどうか」という基準で児童に端末を使用させており、教育目的以外の利用は禁止としています。教員も指導・確認を行っていますが、完全な監視や制限には限界があるのが現実です。また、過度な制限を続けることは、子どもたちが自分で判断し、適切に使う力を育てる機会を奪ってしまう恐れもあります。社会に出たときに自制心を持ってデジタル機器を扱えるようになることが、私たちの目指す教育の一部です。

もちろん、保護者の皆様の不安を軽減するために、学校としてもできる工夫を検討してまいります。例えば、

- ・利用ルールの再確認と徹底
- ・ネットリテラシーや依存防止に関する授業の充実
- ・必要に応じたフィルタリングやアクセス制限の見直しを教育委員会によびかける（学校独自ではできないため）※新しく導入される iPad では、保護者が設定できる「ペアレンタルコントロール」機能があるということです。

こうした取り組みを進めながら、子どもたちが安全に、そして主体的に ICT を活用できる環境を整えていきたいと考えています。今後も保護者の皆様と情報を共有しながら、よりよい方法を一緒に考えていければ幸いです。

②タブレットの持ち帰りについて

- ・重いタブレットを毎日持参することは、学生たちの負担になっています。

→ 登下校の携行品の重量負担については、以前から問題視してまいりました。タブレットを持ち帰らせるにあ

たり、教室に置き場所を設置して多くの教科の教科書等を学校においておくことで重量の軽減を図っております。タブレットについては、連絡帳としての役割や、家庭での学習のために原則、毎日持ち帰りをしております。

③学習におけるデジタルとアナログについて

- ・タブレットの学習は、視力が悪くなること、計算等はあまり身につかないので、紙のドリルの方が良い。
- ・タブレット学習では、適当に答えを選んで進められてしまうし、計算するのにわざわざ紙に書かないとできないので、子供には良くないと思う。小学生にタブレットは早いように感じる。紙のドリル、連絡帳に戻すことを強く希望する。
- ・一人一台端末を使用するのは良いが、漢字練習や計算練習、作図など、もう少し紙でも練習が必要な単位があると思う。その単位については、紙でも配布し、宿題を出してほしい。学校だよりやほげんだより、献立表など、学校から出るお手紙は、紙で配布してほしい。子供にも読んでほしいと思う内容が多いので。
- ・タブレットのみでは学力の定着は厳しい。使い方をもう少し考えて欲しい。何より学校は集団生活の場である。子どもに迎合するのではなく、ある程度強制力をもってご指導いただきたい。保護者として責任を持つので、子どもの主体性に任せる教育やめていただきたい。
- ・オンライン授業は学校が始まってから終わるまでどんな感じでやるのか教えてほしい。
- ・休み時間のタブレット（授業とは関係ないゲーム）使用は制限して欲しい。お友達と話し合っただけから遊びを生み出す経験も子供にとって大切な学びだと思う。集団生活だからこそ学べることを大事にして欲しい。
- ・五年生はノートできちんと漢字練習をさせており、家でも1人で学習に取り組めており、とても有難い。学校からの「宿題効果」は小学生の子どもにはまだまだ大きい。タブレットを使うべき場面と、きちんとノートなどに書いて練習させる場面を今後も無くさないで欲しい。

→ 本校では、紙と鉛筆等を使った学習をおろそかにするつもりはございませんし、全ての授業、全時間でタブレットを使って行っているわけではありません。学年や児童の実態に応じて、また、視力低下等の健康面へ配慮しながら、どの場面ではデジタルが有効か、どの場面ではアナログが有効かを考え、バランスよく授業を展開しております。児童同士が協働的に学び合う場もつくって授業を展開しております。また、前述しましたが、「学習に必要なかどうか」という基準で児童に端末を使用させており、教育目的以外の利用は禁止としています。

「紙のドリル」については、ニーズも多いことから、来年度は「スクリレ」をやめ、漢字と算数については紙ドリルをデジタル教材と併用できるようにいたします。

また、子どもと一緒に読んでいただきたいお手紙は児童が見られるようにも配信しておりますが、今後も検討してまいります。

④連絡帳のデジタル化について

- ・連絡帳、ノートに手書きという形に戻していただきたい。タブレット内だと見ることができない。検討よろしくお願ひしたい。
- ・現在の連絡帳は子供自身が宿題、持ち物、連絡を書いておらず、担任の先生がチームスに入力してくれている。先生が書いてくれたものを見ればいいので確実に分かりやすく忘れ物が少なくなるのでありがたいが、子供自身が自分で連絡帳を書かないまま小学校を卒業して大丈夫なのか心配している。高学年になっても連絡帳は自分で書かず、先生がチームスに入力してくれるものを見るのか？中学生になって宿題や持ち物を自分で管理できるのか不安。連絡帳を自分で書かなくても自分で管理できるようになるのか？授業で文章を書く機会はあるようなのですが、子供が「お」、「を」、「わ」、「は」を正確に書けず、よく間違える。文章を書く

ことが苦手なので家庭で自主学習させたいが、行動が遅くなかなか取り組む時間がとれず、苦戦している。今後も授業で文章を書く機会を増やしていただけるとありがたい。

→ 連絡帳を配信にすることにより、記載漏れがなくなり、児童が記入する時間を削減することで、授業時間や休み時間等を確保することができております。お手数ですが、お子様が持ち帰ったタブレット等でご確認ください。「書く」活動については我々も重要であると感じておりますので、国語をはじめ、各教科で文章を書く活動を取り入れてまいります。

⑤授業中の学習環境について

- ・授業中に騒いでしまうお子さんなどに対して担任の先生はとても大変だと思う。また、一生懸命学びたくて授業を受けている子どもとても悲しい気持ちになることもある。担任の先生だけではなく、今後も学校全体で可能な限り大人の目を増やし、見守っていただきたい。
- ・授業内容があまり理解出来ず、先生の説明も分かり辛いため授業がつまらないと言っている。宿題に関しても、まだ習っていないところが頻繁に出されており、家庭で教えるのが前提かのように感じている。まずは学校でしっかりと基礎学力を着けさせて頂きたいが、現状全く出来ていないため、家庭への負担が年々大きくなっている。学習だけでなく、クラスの規律が乱れ始めており、前向きに真面目に取り組む姿勢を受け入れてもらえない状況がよく起きているようだ。それに伴い学校へ行くのが嫌だと言うことが増えてきた。楽しく学校生活を送ることが出来るように、少しでも改善してほしい。
- ・息子や同学年の保護者から、落ち着きがないクラスがあると聞くことがあった。実際に授業中に先生の話を受けない子や騒がしい子がいて、集中しづらいと本人が話していたこともある。先日の授業参観では、教室を歩き回る子、暴力的な行動をする男の子、言葉遣いが荒い女の子などの様子が見られ、正直驚いた。息子は関わらないようにしていたが、学習環境としてはあまり好ましくないと感じた。もちろん、どのクラスにも一定数そうした子どもはいると思うし、先生方がご苦労されていることも理解している。その上で、来年度のクラス編成では、現在トラブルを起こしやすい児童の把握と、クラス全体のバランスを考慮していただけるとありがたいです。周囲の話聞く限り、今年度は特定のクラスにそうした傾向が集中している印象がある。
- ・子どもから聞くところによると、授業中に寝ている子がいる。ルールを守らずタブレットを触っている子がいる。授業に集中したい子の気が逸れることが心配。
- ・先生が、生徒との距離感も良い意味で近いので我が子も楽しく学校生活を送っているが、やはり授業の進め方、クラス運営の仕方、様々な面で経験年数の少ない先生だし仕方ない、と諦めて家庭でのフォローを必死にしているのも事実。担任の先生を責めたい訳ではなく、学校側の新人育成のやり方を見直して頂けるきっかけになればと意見させて頂きたい。例えば国語や算数では問題を読んで答えを教えるだけの授業ではなく、なぜそうなるのかをもっと引き出してほしいなどと思うことが多々ある。授業の妨げになる行動等への向き合い方はとても難しいと思うが、不快な想いを我慢しながら過ごしている事も知っていただけたらと思う。スクールアシスタントの先生の増員や新人育成の研修等の充実を希望する。

→ 授業内容が理解できない児童や、一生懸命学びたくても集中できない児童がいることについて、指導が行き届かず大変申し訳ございません。担任だけではなく、学年主任やスクールアシスタント、管理職等が組織的に指導・支援し、皆が安心して、質の高い授業が受けられる環境を整えてまいります。また、このような実態を考慮しながら次年度のクラス編成や担任配置を行ってまいります。

⑥授業・学習について

- ・もう少し学習面に重点をおいていただきたい。教師の働き方改革ばかりに重点が置かれているように感じる。
- ・授業参観の内容について、内容がうすい。
- ・テスト等は再テストするなど、フォローをして欲しい。
- ・あとは国語がわからないと言っているので、何がわからないか聞いてみて頂けたら有り難い。

→ 教師の働き方改革により、生み出された時間は児童の学力向上に向けての教材研究や研修、そして児童と向き合う時間として活用しております。ただ、学習指導や児童への寄り添い等、十分ではない状況がございましたら、担任等にいつでもご相談ください。

⑦いじめ等の対応について

- ・本校のいじめ防止基本方針の運用に関し、保護者としていくつか懸念や疑問を感じる点があった。具体的には、登校不安が生じた状況において、子どもの心の安心感や安全の確保が第一に考えられていたのかどうか、そして、一連の経緯が組織内で十分に共有・検証されていたのかという点について。問題発覚後は、担任の先生には誠実に継続的なご対応をいただいていると感じたので、そもそもの運用部分や基本認識に焦点を当てる必要性を感じた。

→ お子様の登校に不安が生じた状況で、心の安心感や安全の確保が十分であったのか、また組織内での共有や検証についてご懸念を抱かれたこと、大変申し訳ございませんでした。学校では、児童同士のトラブルやいじめの疑いがある場合、両者からの聴き取り、事実確認、必要に応じた謝罪の場の設定、保護者への連絡を基本とし、組織的に丁寧な対応を行っています。また、児童同士が納得できるまで話し合いを重ねることも大切にしています。

こうした対応は、担任だけでなく、管理職や関係職員と情報を共有しながら進めており、再発防止や改善に向けた検証も行っています。ただ、対応の過程で「納得がいかない」と感じられる保護者の方がいらっしゃることも承知しております。学校としては、すべての児童の安心・安全を第一に考え、今後もより透明性のある対応を心がけてまいります。また、今回いただいたご意見を踏まえ、基本方針の運用の見直しや再確認を行い、保護者の皆様と協力しながら改善を進めていきたいと考えています。引き続き、お子様の健やかな成長のために、学校とご家庭が連携して取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

⑧体力テストや持久走記録会の結果について

- ・体力テストや持久走記録会の結果についてももう少し詳しい説明がほしいです。一番できる子の数値、中央値、これくらいできれば問題ないという数値、できない子はどれくらいの数値を目指していきましょうという指針などが知れたらよい。今のままだと、できなくても「がんばったね!」で終わってしまう。来年の目標をつくってがんばらせたいと思っているのだが、協力をしていただきたい。

→ 来年の目標を作って家庭でもお声かけいただけるのは大変ありがたいです。体力テストや持久走記録会について、平均値をお示しすることは可能です。「これくらいできれば問題ないという数値」や、「できない子はどれくらいの数値を目指していきましょう。」というのは、時代とともに全体的な体力が変化していること等を踏まえると、示し方は難しいですが、可能な範囲でお示しできるよう、検討いたします。

⑨学習についての学年内の不統一について

- ・漢字テストの採点が、はらいができていないという理由で不正解になった。他のクラスでは、直しはさせても、

正確として点数になったとのこと。成績に関わる事は、最低限、学年で統一していただきたい。

→ 申し訳ございませんでした。学年内でしっかりと統一できるよう指導してまいります。

⑩エンペイについて

- ・集金に関してです。エンペイの導入からしばらく経ちますが、エンペイ支払い家庭の割合が知りたいです。また、導入の効果として、教員の作業の効率化の効果などがみられたのかも知りたいです。
- ・各家庭、様々な事情があることは理解しています。ただ、いまだ集金袋での回収の方が手数料が安いことを考えると、導入時は学校がエンペイ支払いを推奨していたと思うので、学校の舵取りが分からず判断に迷っています。よろしく願います。

→ エンペイの導入からまもなく2年経ちます。導入の効果として、教員が現金を回収して数え、保管し、業者に受取の日程を調整し、支払いを行うという作業がなくなり、効率化が図られております。ご家庭においても、現金の準備、児童の現金の持ち運び、担任への提出までの危険等がなくなっているかと思えます。エンペイを活用いただけないご家庭には手集金を認めており、集金額によっては、手集金の方が手数料が安くなるということに関しては申し訳ございません。ただ、その分、ご自身で集金袋を準備し、保護者が来校して直接支払うという苦勞がございます。エンペイの導入の大きな目的は、現金を子どもが運搬し、教室で受けわたしをすること、教員が校内で大金を管理すること等の危険や事故の防止です。保護者の皆様には手数料をおかけして心苦しいですが、安全な集金作業についてご理解をいただけたら幸いです。今後も、手数料の安い他の集金方法等についても検討してまいります。

⑪学校敷地内の環境について

- ・ハレノテラス側のフェンス沿いの雑草の茂り具合が気になる。伸びた草の中にゴミ(お酒の缶やタバコも含め)が落ちていたりもすると教育の場にそぐわない環境に愕然とする。季節の草花などを植えて、地域の人も景観を楽しめる学校になってほしい。

→ ご指摘ありがとうございます。ご指摘いただいた場所は、学校のフェンスと防球ネットの間にあるため、草花を植えての管理は難しい状況ですが、定期的に除草をし、環境を整えてまいります。

⑫席替えについて

- ・現在席替えは先生の考え方で決めているかと思いますが、あまり異性と話すタイプではないので隣か後のどちらかには同性の子がいてほしいなあと思いました。それでもあまり話しかけにくいタイプじゃないので何とも言えませんが…定期的に席替えしているようなのでたまたま今回異性に囲まれていたので少し気になってしまいました。

→ 席替えについては、学習面、生活面等総合的に考慮して行っております。各個人の要望すべてに沿うことはできませんが、今後も担任等にご相談ください。

⑬運動会の日程について

- ・運動会を11月にしてもらえないか。また、運動会をするかどうかの判断は、当日ではなく前日の天気予報で決定してもらえないか。春の運動会は梅雨入り前で天候も変わりやすく、急な延期で開催が平日になると休めないで子供もがっかりしてしまう。検討をお願いしたい。

- ・運動会は土曜日にできなかった場合、なるべくたくさんの方の保護者にきてもらえるよう、日曜日などを予備日としてもよいのでは?とも思う。

→ 現在、本校では主に、春に運動会、秋に自然の教室、修学旅行等の校外学習や持久走記録会というように、大きな行事が重ならないよう調整して計画を立てております。また、秋には幼稚園、保育園の運動会のために毎年校庭を貸しております。こうした状況ですので、すぐに秋開催に変更することはできませんが、ご指摘のような気候変動等もございますので、運動会の実施時期等については、今後も検討を重ねてまいりたいと思います。土曜延期を日曜日ということについては、土曜日に雨天の場合には日曜日に天候や校庭のコンディションが回復しないことも想定され、また、その週は全家庭と教職員が土曜、日曜両日予定を入れられないということもございます。こちらについても、今後検討を重ねてまいりたいと思います。

⑭登校時の待機場所等について

- ・登校時間が決まっているので仕方ないこととは思うが、暑くても寒くても外で待たされ、時間になると一齐に入るの、昇降口、校内の階段は押し合いになるほどだそうで、怪我に繋がらないか心配。

→ 当初は、8時05分になってから昇降口を開けることにしておりましたが、早く来た児童の健康面を考慮し、少し早く昇降口を開け、校舎内の下駄箱の前で待てるよう改善いたしました。8時05分直後の押し合いを防止するために定期的に職員が指導を行っております。できる限り、8時05分から20分までに学校に到着するよう、ご協力をお願いいたします。

⑮未就学児への対応について

- ・学校公開で、未就学児の兄弟姉妹が授業中の廊下や休み時間の教室を走り回り、机の角に頭をぶつけそうになっていた。学校としては、通学児童ではないため注意しにくいと思うが、怪我につながる前に何か対策があってもいいかなと思う。

→ 未就学児への気遣いありがとうございます。担任等は授業中であるため、注意は難しいところですが、巡回している管理職等が気付き次第、注意してまいります。

⑯宿題について

- ・学習面において、宿題が自主学習中心となり保護者の把握が難しく感じる。
- ・宿題は、自分で課題を見つけてやるようになってきているが、一週間で最低これだけは、やってほしい。などのように最低限のボーダーを設けてほしい。また、計画表をただ渡して出すのではなく、計画表の書き方の例の紙を配布したり、書き方をもう少し指導したりしてほしい。月曜日が祝日だと紙が月曜日分配布されていない。やらせるなら、もう少しきちんと用紙を配布して、徹底させてやらせてほしい。

→ 児童の中には自分の好きな学習をしたり、自分の時間を楽しんだりしたい児童も多いことから、宿題については、最低限家庭で行っていただきたい分量を出しておりますので、ご理解ください。計画表の書き方の指導については、より徹底いたします。また、宿題の量が多すぎる、少なすぎると感じるご家庭がありましたら個別に対応しますので担任等にご相談ください。

⑰校内での衛生について

- ・感染症が流行っている時期なので対策をしっかりお願いしたい。※換気や、手洗い、消毒の徹底など、どのよ

うにしているか。

→ 休み時間の換気、外遊び・清掃後、給食前等の手洗いの励行、給食配膳前の消毒等を行っております。今後も徹底してまいります。

⑱通知表について

・3学期制のまま通知表だけ前期後期になってから、長期休み前に子どもと一緒に学期ごとの振り返りをする機会が減ってしまった。「学習や生活の様子」などの所見は省いて面談の際にお知らせいただく形でもいいので、次の学期への課題や取り組み方を子どもと一緒に考えるためにも、学期ごとの通知表があった方がいいと感じる。

→ 通知表の前後期制は今後も継続してまいります。夏季休業の前には個人面談を設定し、休業中の学習についてのお話もしてまいりますので、ご理解ください。

⑲タブレットの性能や修理について

・タブレットのキーが押せずに壊れているが、修理に出すと時間がかかるとのことで、そのまま使っている。可能であれば、修理期間提示等して頂けるとありがたい。

・故障端末の交換が早くなると嬉しい。

・支給されるタブレットが、個々で性能に差があるらしい。前の子が乱暴に使っていたとか。そこは、費用負担が増えてもいいので、同じレベルのものをあてがってほしい。

・配布されている端末は、起動スピードが遅い為、処理速度が早く、操作性の高い端末を希望する。

→ 申し訳ございませんが、修理期間は業者の混雑状況等により変わりますので、学校にも目安はお知らせされません。ご理解ください。また、すべての端末が市から貸与されているものであるため、追加負担等により性能を上げることは難しいですが、適宜、教育委員会に相談していきたいと思います。なお、令和8年度から端末の機種が入れ替えになるため、操作性は改善されることと思います。引き続き、ご家庭でのタブレットの管理（水没や落下等の注意）について、ご協力をお願いいたします。

⑳教員の指導について（1）

・担任の先生が、自分ではなく他の子が怒られているのを見聞きし、怖いと、萎縮している。

→ 担任等は、児童のよくない言動については時に厳しく指導を行う場合もございます。ただ、過度に児童を萎縮させるような言い方等がありましたら今後も学校にご連絡ください。

㉑教員の指導について（2）

・下校班の集合が遅いと怒られて泣いている子がいるよう。授業が遅れて集合が遅れたのに娘も怒られたそう。口調を優しくしてほしいし、各クラス間で授業時間の連携をとってほしい。

→ お子様がつらい思いをしまい、申し訳ございません。授業時間の遵守や指導の仕方について、担任等に指導してまいります。

②授業予定の変更等について

- ・授業内容の変更など柔軟さがない反面子供にとっても先生にとっても混乱や負担になっている場合があるように感じる。どこまでやっても予定通りいかないのが現実なので、難しさを感じる。
- ・同じ授業でも先生により違うので事前打合せなどどのクラスでも標準化をはかって欲しい。

→ できる限り、統一感をもって、予定通りに進められるよう、指導してまいります。

③中学に向けて

- ・中学に向けて学力のプレッシャーを感じている。(つぼみの日以来。つぼみの日を経て楽しみになるのかと期待していたが、うちの子の場合、逆だった。)

→ 進学、進級に向けて、不安に思う児童も多くなっています。是非担任等にご相談ください。

④授業時間の確保について

- ・よく子どもから「○時間目自習だった」と聞く。生徒たちのトラブルに対応していると思われるが、自習の頻度が多いので授業が遅れないか心配。もちろんトラブルに対してしっかり時間をとって対応することも大切なのはわかるのだが。

→ どうしても早急に聴き取り等を行わなければいけない場面がありますが、授業も大切です。組織的に短時間で生徒指導を行い、授業時間も確保してまいります。

⑤エアコンの不調について

- ・エアコンが壊れているようで夏場は教室などかなり暑いと聞いた。毎年暑さが増すので心配。
- ・夏季の冷房について、冷房が効いていないクラスがあると感じている。帰宅すると毎日のように、教室が暑い、頭が痛くなると言っているので、猛暑の中登校させる事に不安を感じている。授業参観に伺った時も、子供たちは真っ赤な顔で汗を流しながら授業を受けていて、保護者の私たちもかなり暑いと感じた。(勿論人数が増えたことにより冷房の効きが悪くなっていた面もあるとは思いますが、子供に聞くといつもこれくらい暑いと言っていた。)ここ数年、学校全体で冷房を使うとブレーカーが落ちて冷房が切れてしまう場面を見たり、冷房の効きが悪いクラスが多くあったりと、なぜこんなに何年も改善されないのか疑問に思っている。最近の夏の暑さは異常です。子供達や先生方の安全を守る為にも、最低限、教室に戻れば涼しいと感じられ(当たり外れなくどのクラスでも)、体調が整えられる温度で冷房を使用できる環境を早急に整えて頂きたい。

→ 暑い時期にエアコンの不調等があったクラスには大変申し訳ありませんでした。夏の暑さが想定を超えたものになっていますので、定期的にメンテナンスを行い、環境を整えられるよう、教育委員会にも予算要求をしております。

⑥持ち物の事前連絡について

- ・うちの子が話を聞いておらず、わかってないのか、ただ話してくれないだけなのかもしれないのだが、連絡帳に持ち物が書いてある時に、いきなり次の日に持ってくるものを書いてあると、働いていて夜帰ってきて、連絡帳を見て、慌ててその物を夜もやっている店を探して買いに行かないといけない事があり、できたら前々日にも、(○日につかう)と教えていただけたら、働いている親はとても助かる。
- ・スクリレ、連絡帳での持ち物連絡が急すぎる。上のお子さんがいるご家庭では対策出来ているようだが、ざっ

くり書かれていても本人もわからない事も多い。帰ってから連絡帳を確認できるのが19時とかなので、翌日に必要なものが書かれていても準備できない。たまたま持ち合わせがあつてホッとした事が何度かある。スクリレの学年だよりは前月末に出すなど、配慮頂きたい。他のママさんにも聞きましたが、皆さん同じような思いをしていた。

→ 申し訳ございません。準備に時間がかかるものについては、前もって連絡できるようにいたします。

⑳教科担任制について

- ・教科別になってから、苦手な先生の教科のやる気が明らかに下がったように感じる。先生の発言等に理不尽な思いをしたこともあるようだ。担任の先生との相性が良くないと全ての教科が嫌いになる可能性もあるため、教科別には一長一短があると感じている。なお、大好きな先生の授業が多い日は喜んでいて、その先生の子供との関わり方は素晴らしいと思っている。

→ 教科担任制については、いろいろな教員が行う授業を経験し、子どもたちが対応力を高めるという側面はありますが、学年内で統一感をもって指導できるようにしてまいります。

㉑校内のルールについて

- ・他のクラスに入つてはいけないルールがあり、つまらないと言っている。入つてはいけない理由も、先生から説明はなかった（子が勘違いしている可能性もありますが）と言っている。トラブル防止等の学校の考えがあつてのことかと思うが、多様性のこの時代に疑問を感じている。ルールを続けるのであれば、子どもたちが納得できるようにその意図を改めて説明して欲しい。

→ 児童管理、児童の学用品等の安全確保の観点から、他のクラスへの出入りは無しとしております。

㉒タブレットの充電環境について

- ・全クラスがタブレットの充電できる環境は整ったのか教えてほしいです。

→ 充電環境が整っていなかったクラスにはご迷惑をおかけしております。全クラスに充電できる環境を整えられるようにいたします。